

バイオマスセミナー

in 大阪

都市編

都市バイオマスの有効活用から、新たな価値の創出へ！

参加費無料

近畿経済産業局では、地域におけるバイオマス資源を有効活用することで、循環型社会の形成ならびに地域活性化を目指す取組や事例等について紹介するセミナーを開催します。

都市部で発生するバイオマスをエネルギーや高付加価値な材料等として有効活用することで、地域における経済活性化、雇用機会の創出、企業価値の創造、SDGsの達成などを目指す自治体や企業が見られます。

本セミナーでは、都市部で発生するバイオマスをテーマに研究者や実践者による取組や今後の展望に関する紹介に加えて、講演者をパネリストに迎え、「都市バイオマスの有効活用から、新たな価値の創出」について、その可能性や課題について皆様と意見交換を行います。また、施設見学会も同日に開催します。

自治体や企業のご担当者はじめ、ご関心のある方はぜひご参加ください。



日時 **2月13日(水)**
14:00~17:30

施設
見学会
同時開催

時間 **10:30~**
場所 **平野下水処理場**
定員 **30名(希望者のみ)**

場所 **大阪国際交流センター 3階「銀杏」** 大阪市天王寺区上本町8-2-6

プログラム

施設見学会 10:30 ~ 12:00 定員 30名

大阪市平野下水処理場において、担当者による施設概要の説明の後、汚泥固形燃料化事業施設（汚泥炭化炉）をご案内いただきます。
※希望者のみ。見学会のみの参加はご遠慮下さい。

セミナー 14:00 ~ 17:30 定員 100名

▶ 挨拶 近畿経済産業局 資源エネルギー環境部

▶ 基調講演 「バイオマス有効活用の最新動向—多様化する取組、効果、価値—」

近藤昭彦氏 (神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科長・教授)

地域や企業等の特性に応じて、バイオマスの有効活用に係る取組が多様化する最新動向について、バイオマスの有効活用による系譜や技術開発の実例を交えてお話しします。

▶ 講演・事例紹介 「バイオマスから生産するプロダクトのコストの考え方」

片倉啓雄氏 (関西大学 化学生命工学部 生命・生物工学科 教授)

バイオマスを原料としてプロダクトを生産する場合、原料の調達、輸送、保管、前処理、糖化、発酵、精製、廃棄物処理など、上流から下流までトータルのプロセスデザインが必要であることを、バイオエタノール生産を例に紹介します。

▶ 実践事例紹介 「バイオマス発電事業を継続・発展させるためのポイント」

中新田直生氏 (株式会社市川環境エンジニアリング 取締役/イノベーション事業室 新事業開発・再生エネルギー担当)

10年以上継続して稼働する木質バイオマス発電所やメタン発酵ガス発電が、処理量を増やしながら継続稼働できるポイントについて、実践例を元に紹介します。

「様々な廃棄物・バイオマスの処理が可能な縦型乾式メタン発酵施設」

町川和倫氏 (株式会社富士クリーン 企画部 次長)

NEDO事業の一環で本格稼働する「縦型乾式メタン発酵施設」について、様々な廃棄物・バイオマスの収集及び処理の取組状況、事業推進に向けた各種法制度や周辺地域への対応などについて紹介します。

「楽しい体験から広がるリサイクル事業の新たなムーブメント」

岩元美智彦氏 (日本環境設計株式会社 取締役会長)

商業施設等が参画するリサイクルプロジェクト「BRING」、バイオエタノールを燃料としたデロリアンの走行イベントなど、楽しいリサイクル体験からつくる循環型社会の在り方について紹介します。

▶ 意見交換会 「都市バイオマスの有効活用から、新たな価値の創出へ！」

都市バイオマスの有効活用から新たな価値創出の実現に向けた可能性や課題について、講演者と皆様で意見交換を行います。

主催：近畿経済産業局 後援：大阪市

問合せ：事務局
(株)タン計画研究所内 TEL.06-6944-1173

バイオマスセミナー 大阪

— 都市バイオマスの有効活用から、新たな価値の創出へ! —

2月13日(水)
参加費無料(見学会、セミナーとも)

施設見学会 (定員30名) 10:30~12:00

大阪市平野下水処理場 (大阪市平野区加美北2-6-69)

● 地下鉄「南箕」駅から徒歩10分、JR「衣摺加美北」駅から徒歩15分



セミナー (定員100名) 14:00~17:30

大阪国際交流センター (大阪市天王寺区上本町8-2-6)

● 地下鉄「谷町九丁目」駅から徒歩8分、近鉄「大阪上本町」駅から徒歩6分
(大阪市平野下水処理場からは、電車・徒歩で50分ほどかかります)



【出演者プロフィール】

■ 近藤 昭彦氏 (神戸大学大学院 科学技術イノベーション研究科長 教授・工学博士)

京都大学大学院博士課程修了後、九州工業大学助教授等を経て2003年より現職。理化学研究所 環境資源科学研究センター 細胞生産研究チームリーダーを兼務。研究テーマはバイオマス資源からのバイオ燃料・化学原料・生分解性プラスチック生産、合成生物学などで、現在、JST・先端的低炭素化技術開発 [ALCAプロジェクト]における革新技術領域・バイオテクノロジーのプロジェクトオフィサーを務めている。

■ 片倉 啓雄氏 (関西大学 化学生命工学部 生命・生物工学科 教授・農学博士)

大阪大学大学院博士課程修了後、オリエンタル酵母(株)中央研究所、大阪大学助手、助教授等を経て、現職。専門は微生物工学、生物化学工学、技術者倫理で、文部科学省・私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「地域資源の高度利用を図るバイオリファイナリーの基盤形成とその実用化」にて代表研究者を務めた。

■ 中新田 直生氏 (株式会社市川環境エンジニアリング 取締役/イノベーション事業室 新事業開発・再生エネルギー担当)

千葉県市川市に本社を構える総合環境エンジニアリング企業。2008年より木質バイオマス発電所を、2006年より食品廃棄物から電気や都市ガスを供給するリサイクル工場をそれぞれ継続して稼働。バイオマスの入口から出口までの独自ネットワークを形成し、事業を軌道に乗せている。

■ 町川 和倫氏 (株式会社富士クリーン 企画部 次長)

本社は香川県綾川町。一般廃棄物及び産業廃棄物の収集・運搬、処理、リサイクルを行う。NEDO事業として、省スペース化、様々な廃棄物・バイオマスの処理が可能な「縦型乾式メタン発酵施設」を2018年8月より本格稼働させ、地域に根ざしたバイオマスエネルギーシステムの構築を進めている。

■ 岩元 美智彦氏 (日本環境設計株式会社 取締役会長)

本社は東京都千代田区。リサイクルインフラの構築・運営を行うベンチャーとして2007年に設立。大型SC、百貨店、洋品店などプロジェクトに参加する企業店舗を回収拠点として、消費者から回収した衣類等のバイオエタノールへの生成や再生ポリエステルをつくる「BRING」を展開。バイオエタノールを燃料として、映画「バック・トゥ・ザ・フューチャー」に登場するデロリアンを走行させるイベント等により、楽しいリサイクルを実現している。

お申し込み方法 (締切 2月8日(金)まで)

ホームページアドレスより入力いただくか、下記の申込欄に必要事項を記入しFAX (06-6946-9120) 送信して下さい。

ホームページアドレス <http://www.dan-dan.com/o-biomass/>

事業所名		TEL	
所在地	〒	Eメール	
参加者	お名前 _____	部署 _____ 役職 _____	※いずれかに○印 セミナーのみ参加 / セミナー・見学会とも参加
	お名前 _____	部署 _____ 役職 _____	※いずれかに○印 セミナーのみ参加 / セミナー・見学会とも参加
	お名前 _____	部署 _____ 役職 _____	※いずれかに○印 セミナーのみ参加 / セミナー・見学会とも参加
バイオマスビジネスについて出演者に聞いてみたいこと	※質疑応答の際、出演者の方々よりアドバイスいただきます。(どんなご質問でも結構です)		

問合せ先 バイオマスセミナー事務局 (株式会社ダン計画研究所内)

TEL 06-6944-1173

E-Mail biomass@dan-dan.com

※ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する事務処理、主催するイベント及び各種支援策の案内のために利用します。承諾なく第三者に提供することはありません。